

「ストリートチルドレン支援」や災害支援を目的に、バザーやコンサート、演芸会などのチャリティーイベントが開催され、収益金がく幸せの種まき献金)に入金されました。

予定が合わない方や遠方から来場できない方には《心の参加者》となってチャリティーにご協力いただきたいと呼びかけもございました。



●第17回「SYDチャリティー演芸会」
(6/20、東京都・SYDホール)



●「幸せの種まき祭り～チャリティーバザー～」
(11/8、東京都・SYDビル玄関前広場ほか)



●第9回「『東京ベルズ』チャリティーコンサート」
(12/7、東京都・SYDホール)



●チャリティー演劇「その花をかた手に～『パヤクスに降る星』より～」
(10/29～11/2、東京都・SYDホール)

▲プロデューサー 毛利杏奈



▲収益金でチョコレート等のクリスマスプレゼントを購入し、フィリピンに届けました。

支援者紹介

兄弟でフィリピン事業に参加し、「学資支援」へ

石田雅也さん(株式会社アイオライト代表取締役)



現地に行って初めて分かること、行かないと分からないことがたくさんありました。日本の貧困とフィリピンの貧困、両方を知った立場として今後も活動を継続し、自立支援にも関わっていきたいです!

ホームステイに来てくれた時は、たくさん話して、いっぱい笑ってとても楽しかったです。これから夢を叶えていくプロセスも一緒に歩んで行けたらいいな!



▲レニエルの家にホームステイした時、彼らは一緒に食べられないごちそうをふるまってくれました。

フィリピンから帰国後

広島在住の石田雅也さんは、お兄さんが約20年前に指導者を対象とした『SYDボランティア・アクションinフィリピン』に参加し、その体験を聞いたことがずっと心に残っていました。「いつか自分も行ってみたい!」と思いながら時間が経ち、2024年、やっと念願のフィリピンへ。

その後、フィリピンへの支援を積極的におこなってくれています。

SYD主催の「幸せの種まきキャンペーン(出前講座)」で体験発表をする石田さん。

▼「幸せとは何かを深く考えさせられた」と語ってくれました。



2026年3月20日の「修養園創立120周年記念大会」で、再会を喜び合う石田さんとレニエル。



令和7年度 収支報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入 ◆当期収入合計 5,086,207円

一般献金(121件) …… 2,640,703円
指定献金(93件) …… 2,445,504円

支出 ◆当期支出合計 6,670,788円

支援支出 …… 6,670,788円

◆前期繰越金 4,714,686円
◆当期収支差額 ▲1,584,581円
◆次期繰越金 3,130,105円

支援支出明細

【※印は、指定献金を含む】

【国内災害被災者支援】	
岩手県：大船渡市山林火災被災者支援	※200,000円
【海外災害被災者支援】	
ミャンマー：ミャンマー地震被災者支援(AAR Japanを通じて)	300,000円
【ストリートチルドレン支援】	
フィリピン：「子ども学資支援」(幼稚園～高校生のスカベンジャー・36人)	※720,000円
フィリピン：「大学生学資支援」(スカベンジャー・6人)	※1,300,000円
フィリピン：「パンガラップ・ラーニング・スクール」(学校運営支援)	※1,440,000円
フィリピン：ストリートチルドレンへの学用品プレゼント、遠足招待等(「青年ボランティア・アクションinフィリピン」)	1,200,000円
フィリピン：「マザー・テレサの家」(支援品)	40,394円
フィリピン：スカベンジャーの子どもたちへのプレゼント(レインコート)	※200,000円
フィリピン：スカベンジャーの子どもたちへのクリスマスプレゼント(チョコレート)	70,394円
フィリピン：芸術教育支援★	※1,200,000円
合計 6,670,788円	

★「TJUシアター芸術教育支援」は、「芸術教育支援」に名称を変更しました。



ミャンマー大地震被災者支援金をAARへ持参(税込み)

ミャンマー大地震被災者支援金30万円を「認定NPO法人難民を助ける会」(AAR Japan)へ持参し、同会の関口淳子プログラムコーディネーター(写真・右)に直接手渡しました。

(令和7年5月27日)

く幸せの種まき献金)のご報告は

献金の入金および支出は、SYDの機関誌『向上』『愛』誌上で報告しています。また、支出先は、「幸せの種まき献金委員会」で協議の上、決定しています。この報告書は、年度ごとに1年間の活動報告をするもので、献金のご協力者やSYDの会員組織などに配布しています。

支援方法は?

以下の方法があります。

① クレジットカード決済



② 銀行振込み

③ 郵便局の振替用紙でATMから振込み

●詳細は、SYDホームページの「SYD寄附・献金サイト」をご覧ください。



▲「SYD寄附・献金サイト」はこちら



銀行振込み

銀行振込み連絡フォーム▶

QRコード「銀行振込み連絡フォーム」から必要事項をご送信後、下記銀行口座にご入金ください。

●ゆうちょ銀行

ゼロイチキョウ

店名：〇一九

当座 0670944

名義：幸せの種まき献金

●三菱UFJ銀行

支店名：原宿支店

普通 1046088

名義：公益財団法人修養園

※寄附金控除について

《幸せの種まき献金》へのご寄附に対しては、確定申告をすることにより、所得税、法人税、相続税などに対して「公益社団法人等寄附金特別控除」を受けることができます(控除を受けるには、証明書と領収書の添付が必要です)

『AJのパヤクスレポート』出版!



貧困の中で生きるフィリピンのゴミ山周辺で暮らす子どもたちが、いかに心豊かで、家族思いで、明るく逞しく生きているのかを、そこに暮らす感性豊かなAJの視点でとらえ、彼らの日々の問題や貧困の実態などがより深く理解できる内容となっています。

価格：550円

(税込み)

※送料別

▲ご注文フォーム

※この書籍の売上は「幸せの種まき献金」を通じてフィリピンのゴミ山周辺で暮らす子どもたちのために使われます。



令和7年度

幸せの種まき献金【活動報告】

SYDのく幸せの種まき献金)は、多くの皆さまのあたたかいご協力[ご寄付]によって、海外のストリートチルドレンの教育支援や、災害被災者への支援などを年間をとしておこなっています。令和7年度は、214件・総額 5,086,207円のく幸せの種まき献金)を全国各地の皆さまからお寄せいただきました。

献金委員会では、これらの献金によって、フィリピンの経済的に恵まれない子どもたちが無料で勉強できる「パンガラップ・ラーニング・スクール」[約280人の子どもが通っています]の運営を支援し、その貧困地域に暮らす子どもたちへの「学資支援」や「芸術教育支援」をいたしました。また、災害被災者支援として、国内では岩手県山林火災の被災者支援、海外ではミャンマー地震の被災者支援をおこないました。ここに皆さまからのご協力に対し、心からの感謝と御礼を申し上げます。

世界に笑顔の花が一輪でも多く咲くことを願って、令和8年度もく幸せの種まき献金)活動を皆さまと共に展開してまいります。一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

— SYD「幸せの種まき献金」委員会



▲SYD公式
幸せの種まき献金ページ

【フィリピン】あなたの支援で咲いた“笑顔の花”

皆さまのご協力によりく幸せの種まき献金)は、フィリピンのゴミ山周辺で暮らす子どもたち及び大学生の学資支援を現地法人CJF(クリエイティブ・イメージ財団、代表：瓜生敏彦氏)と協力して長年続けてきました。お陰さまで支援を受けた子どもたちの中には、自らの夢を叶え、家族のため地域のために働き始めた青年らもいます。その中から2人の青年を紹介します。

レクセル・カイソ(24歳)



〈9歳のころ〉



「幼い頃の僕は勉強が好きで子どもではなかったから、たくさん挫折も経験しました。だけど多くの人が僕を支え続けてくれたおかげで、諦めずに勉強をがんばり、今は消防士になって、地域の人たちを守る仕事が生き甲斐になっています。今後もっと立派な消防士になって恩返しをします!」

マリー・テイフ(23歳)



〈12歳のころ〉



「私の家族から“高校生”が出たのは私が初めてで、大学生になった時も信じられませんでした。そして今や、夢だった高校の化学の先生になることができました。生徒たちに教えることが楽しくて、嬉しくて、毎日充実しています。皆さまの長年のサポートに、心から感謝しています!」



く幸せの種まき献金)活動をおこなっているSYD(公益財団法人修養園)は、1906年に蓮沼門三を中心とする学生たちによって創立されてから120年。青少年の健全育成事業を柱に、社会人教育、家庭教育などのさまざまな事業を展開している社会教育団体です。「愛と汗」を信条に、まず身近なところから“幸せの種”をまこうという、《幸せの種まき運動》を推進しています。

SYDの公式Webサイト▶





「フィリピン」ゴミ捨て場で暮らす子どもたちを支援

「この日」を指折り数えていた子どもたち



〈幸せの種まき献金〉では、第22回目となった『青年ボランティア・アクション in フィリピン』で、パヤタスとスモーキーのゴミ捨て場やその近くで暮らす子どもたちと家族、約280人を動物園や遊園地に招待。お弁当の提供もおこないました。SYD会員や日本各地の学校から寄せられた「子ども支援バッグ」500袋と手作りポシェットやぬいぐるみなどのプレゼントも届けました。

また、スカベンジャー（資源ゴミを拾い換金して生計をたてる人）の子どもが無料で勉強している「パンガラップ・ラーニング・スクール」（2校）への支援や、貧しさから学校へ通うことが難しい子ども38人と、大学生6人に「学資支援」ができました。（※）

なおマニラにあるマザーテレサの施設「死を待つ人の家」や「喜びの家」からのリクエストがあった、おしめカバー、目覚まし時計、文房具等を支援しました。



▲年に1回の動物園や遊園地招待は、子どもたちにとって特待に特った夢の1日。



▲指定献金から購入したレインコートを子どもたちにプレゼント。



▲大好きなジョリビーのチキン弁当を配布。子どもたちの多くは少しだけ食べて家族のために持ち帰ります。

※「SYD子ども学資支援」…フィリピンの幼稚園～高校生までの子ども、1人につき2万円/1年間学校へ通う支援ができます。送金の際、通信欄に「子ども学資支援」とお書きください。
また、大学生は、1年間で約20万円必要となります。1日2万円が募集しています。

★第23回『青年ボランティア・アクション in フィリピン』は、令和8年8月18日～24日におこなわれます。詳しくは、SYDのホームページをご覧くださいか、SYD青年部までお問い合わせください。



「フィリピン」芸術教育支援*

子どもの「潜在能力」を開花させよう！

学校教育はもちろん大切ですが、子どもたち一人ひとりは勉強以外にも埋もれた才能、能力を秘めています。

〈幸せの種まき献金〉で支援を続けている現地法人CIF（クリエイティブ・イメーシ財団）では、学校教育と共に平成27年から「芸術教育支援」をスタートさせ、ダンス、演劇、和太鼓、アート等、子どもたちの潜在能力を開花させるためのワークショップを定期的におこない、ステージで披露しています。

9歳のジェンジェンは、5歳の時からダンスを学び、その才能がどんどん開花、今ではダンス・コンテスト上位入賞者の常連で、その賞金は家族の生活費の足しにもなっています。

※「TIUシアター芸術教育支援」は「芸術教育支援」に名称を変更しました。

▶私はジェンジェン9歳です。父はスカベンジャーで、15歳の姉と11歳の兄がいますが、兄は発達に障害があります。時々、家には食べる物がありません。くバグバグ」といって、捨てられた食べ物を洗って、二度揚げしたり、炒めなおしたものを食べています。
「芸術教育支援」のサポートでダンスの才能を見つけてもらい、コンテストに出て賞金をもらえることもあります。ダンスをもっと練習して、家族を支えられるようになりたいです！



▲ダンスコンテスト入賞



▲ステージで成果を披露し、拍手をあげることで自己肯定感が高まり、未来への希望へとつながる。



未来へのメッセージ～Love&Action～

「SYD制服購入支援」を受けた奥能登の中学生2名と日本の青年1名、フィリピンの大学生1名が「未来へのメッセージ」を述べてくれました。



- 「令和6年能登半島地震が発生したため、卒業式は消防署の二階で行いました。卒業式に着ていった中学校の制服は、SYDさんへ届けられた全国の皆さまからの寄付によって支援して頂きました。私は制服の他、入学に必要な学生かばんも支援して頂きました。皆さまのおかげで、無事に中学校に入学することができました。本当にありがとうございました。」
- 「多くの方々に助けてもらい、嬉しかったので、僕もこれからたくさんの人の助けになることをしたいと思っています。」

（奥能登の中学生のスピーチ抜粋）



「修養団創立120周年記念大会」出演のため「フィリピン子ども親善大使」が来日

「修養団創立120周年記念大会」でパフォーマンスを披露してもらうため、SYDが長年支援を続けているフィリピンのゴミ山周辺で暮らす子どもと青年13名と指導者2名を、3月17日～24日までの8日間、日本に招へいた。半年間練習を重ね、感動的なパフォーマンスを披露してくれました。また、学資支援を受けている奨学生ら4組が支援者の方々との初対面や再会を果たし、大いに喜び姿が見られました。

また、この「フィリピン子ども親善大使」を招へいするためにクラウドファンディングを立ち上げたところ、166名の方から、382万4千円の温かいご支援をいただきました。



▲学資支援者の「東京ベルズ」の1人ラジアン円さんと8年ぶりに再会した奨学生のジェームス。ラジアン円さんは、2018年のフィリピンボランティアに参加。当時7歳だったジェームスの家にホームステイしました。



▲パフォーマンスの最後に残ったのは「This is Me!（これが私よ!）」。それぞれの夢の職業の衣装を身につけ圧巻のラストダンス！



僕は皆さんの愛と
いやりの産物です。
受け取ったバトン
を必ず次の世代へ渡
します。

◀涙ながらにスピーチをする大学奨学生のレニユエル（21歳）



◀手のマメがつぶれるほど毎日厳しい練習をし、その成果が発揮された和太鼓パフォーマンス。



大学奨学生のアリッサが記念品ロゴデザインを担当！

グラフィック・デザイナーを目指している大学3年生のプリオネス、アリッサ ロリー（21歳）が、「修養団120周年記念大会」記念品のトートバッグのロゴデザインを担当しました。

●SYDの「愛(Love)と汗(Action)」のモットーが楽しく弾むように世界に広がっていきまように、という願いを込めたロゴにしてみました。トートバッグをいつもお身に置いていただけたらとても嬉しいです！



アリッサ



令和7年度 幸せの種まき献金

ご協力ありがとうございました！

《献金者ご芳名》（順不同、敬称略）

●秋山研一郎 ●朝香邦子 ●石川真一 ●板倉和也 ●岩佐加寿子 ●岩田有依花 ●岩田悠子 ●岩松佐智子 ●梅澤秀美 ●江草友子 ●江瀬和行 ●大澤正子 ●大塚慶子 ●沖山英夫 ●小俣宣子 ●甲斐野しげみ ●加藤美恵子 ●狩野新一郎 ●久世郁夫 ●小亀たく ●小西裕子 ●小林陽子 ●近藤直子 ●齋藤詩子 ●齊藤玖仁子 ●斉藤未桜 ●笹はるみ ●島巡紀子 ●鈴木優子 ●竹本英美 ●田中栄 ●田渡英男 ●竹間和子 ●戸谷友 ●名倉淑江 ●西垣博子 ●仁野勝彦 ●丹羽秀樹 ●ゆき子 ●根津修 ●袴田律 ●峻 ●平石和男 ●廣江かね ●廣岡憲明 ●福島節郎 ●藤脇敏夫 ●古城門清則 ●澄子 ●増田真志 ●松崎尚幸 ●松本なお江 ●丸田衛 ●三井千代 ●森文秀 ●山崎政弘 ●山根良子 ●和出朝美 ●F.T. ●匿名 ●音楽グループ「クリュティエ」 ●株式会社コ・ビアン ●特定非営利活動法人東京ベルズ ●公益財団法人野村生涯教育センター ●マルタケコーヒービーンズ ●特定非営利活動法人やくも元氣村 ●SYDビル管理センター一同 ●修養団美幌会 ●SYD修養団瑞雲会 ●旧修養団埼玉県連合会「修養団創立120周年記念大会」出席者一同 ●旧修養団八和田親和会 ●SYDボランティア友の会 ●修養団伊勢いなほの会 ●修養団創立120周年記念大会出席者有志 ●第17回チャリティー演芸会 ●チャリティー演芸会来場者有志 ●幸せの種まき祭り ●幸せの種まき祭り来場者有志 ●第9回東京ベルズチャリティーコンサート ●東京ベルズチャリティーコンサート関連（来場者有志、さいたまシティアカデミー交響楽父兄一同、ミニバザー売上） ●「パヤタスに降る星」収益分献金 ●「AJレポート」売上分献金 ●SYD役職員一同

以下、各指定献金の献金者ご芳名

【災害被災者支援】

●佐藤健一郎 ●渡部ヒサ ●高山昌瑛 ●SYDボランティア友の会 ●幸せの種まき祭り

【フィリピン恵まれない子どもたち支援】

●匿名 ●第17回チャリティー演芸会 ●第9回東京ベルズチャリティーコンサート ●幸せの種まき祭り

【フィリピン子ども学資支援】

●赤井ファミリー ●安仁屋聡・宮城守・山城剛 ●新井秀夫・幸子 ●有島剛 ●板倉ファミリー ●江種ファミリー ●大崎恵美子 ●岡地宏 ●小川昭廣 ●奥村利孝 ●海田孝行・君乃 ●神崎直美 ●小林顕子 ●榮枝泰子 ●嶋津桂子 ●志村ファミリー ●鈴木優子 ●高木ファミリー ●露口幸世 ●中島郁雄 ●中島康孝 ●平松ファミリー ●増田真志 ●松本なお江 ●渡邊直美 ●With YK ●匿名 ●株式会社アイオライト ●あいさわ歯科医院 ●聖隷クリストファー中・高等学校るりだの会 ●北海道八雲町「おやじの会」 ●特定非営利活動法人東京ベルズ

【フィリピン大学生学資支援】

●安倍昌代 ●伊藤綾香 ●岡地宏 ●植田絵理・南晴香 ●鈴木優子 ●中田ファミリー ●古城門ファミリー ●With YK ●匿名 ●株式会社アイオライト ●SYD役職員有志

【パンガラップ学校支援】

●岩佐ファミリー ●大塚慶子 ●榮枝泰子 ●鈴木優子 ●中島康孝 ●原田千代子 ●匿名 ●株式会社アイオライト ●あいさわ歯科医院 ●オンライン居場所color ●一関市立桜町中学校1学年 ●聖隷クリストファー中・高等学校るりだの会 ●中村中学校・高等学校 ●修養団香川県連合会 ●SYDボランティア友の会

【芸術教育支援】※「TIUシアター芸術教育支援」は「芸術教育支援」に名称を変更しました。

●有島剛 ●株式会社アイオライト ●あいさわ歯科医院 ●聖隷クリストファー中・高等学校るりだの会 ●特定非営利活動法人東京ベルズ ●株式会社Voice Crew ●舞台「その花をかた手に」来場者有志

フィリピン支援品の提供者（順不同、敬称略）

【「子ども支援バッグ（※）」「手作り支援品」協力者】

※皆さまからいただいた、文房具・Tシャツなどの支援品を巾着袋に入れ、フィリピンの子供たちに届けました。

●飯島理央 ●岩佐みゆ ●植田絵理 ●大沼沙也加 ●海田君乃 ●加藤淡 ●小菅流羽・優羽 ●境美希 ●鈴木綾 ●滝田遥斗 ●竹田有佳子 ●田中稜太 ●谷結佳 ●谷野しずえ・瞳 ●中嶋郁雄 ●福永江美 ●堀口光子 ●水上雄太 ●村松智子 ●安岡祐祐 ●山口佳純 ●山口珠恵 ●米山由佳 ●竹谷タオル店 ●マルタケコーヒービーンズ ●カリタ女子中学高等学校 ●津田中学校JRR防炎委員会 ●SYD福岡